



小高城は鎌倉時代の終わり頃に相馬氏の所領となり、江戸時代のはじめ相馬中村城に移るまで約二八〇年間奥州相馬氏の本拠地だった場所です。南北朝の動乱から、伊達政宗をはじめとする奥州伊達氏との抗争に至るまで、戦乱の世を生き抜き、一度も侵攻を受けなかった城です。現在、城内には相馬小高妙見を祭る相馬小高神社があります。城址は中世の城の形態をよく表しており、別名「紅梅山浮舟城」と呼ばれ、福島県指定史跡に指定されています。

### 小高城址

野馬追に思いをはせる

